

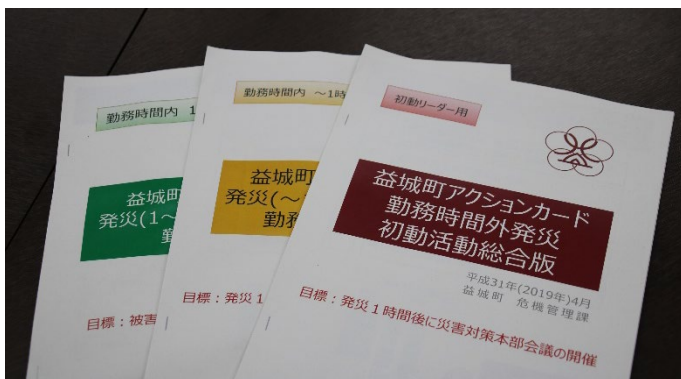
熊本県益城町との共同研究により 自治体の災害対応業務の早期実施を目的とした「アクションカード」を開発 ～熊本地震の教訓を活かし、優先すべき初動から災害対応組織構築までの具体的手順を明記～

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:村林 聡、以下 MURC)は、3月26日、益城町(熊本県上益城郡、町長:西村博則)と共に、「アクションカード完成報告会」を開催しました。

この「アクションカード」は、平成28年熊本地震(以下、熊本地震)の経験をきっかけに、益城町とMURCが共同研究に取り組み作成したもので、組織規模の小さい益城町において必要とされる、災害発生時の初動対応手順を詳細に示していることが特徴です。また、この共同研究で得たアクションカード作成のノウハウを、他の中小規模自治体の災害対策にも活用していきたいと考えています。



(左:益城町 西村博則町長、右:MURC 篠田晴行 政策研究事業本部大阪本部長)



(アクションカード(左)と 初動対応時使用備品(右))

1. 趣旨・背景

益城町は、熊本地震により震度7の揺れを2度経験し、大きな被害を受けました。その被害とその後の災害対応の中で明らかになった多くの課題や教訓を、今後の防災に向けた取り組みに反映することを目的に、益城町では、これまでの災害対応の検証を行うとともに、今後起こりうる災害に備えて、様々な対策検討を進めているところです。

一方、MURCは、国や全国の自治体・関連団体等への政策提案を担うべきシンクタンクとして、阪神・淡路大震災、東日本大震災、東海豪雨等、これまでの大規模災害で得られた教訓を、次の世代へ・未来のまちづくりへとしっかりと繋げていくため、防災計画・マニュアルの策定支援、職員向け災害研修・訓練の実施、その他防災・減災に関する情報発信等、全国の災害対応力向上を目指して多くの取り組みを行い、そのノウハウを積み重ねてきました。

今回は、益城町の職員が熊本地震の経験で実際に得た課題・教訓と、MURCがこれまでの自治体支援で培った知見・ノウハウを組み合わせることで、益城町の災害対応体制構築を確実に行うとともに、他の全国自治体の災害対応力向上にも参考になるものを提供したいという両者の想いを具現化させる形で、「アクションカード」を作成しました。

2. 「アクションカード」の概要

アクションカードとは、災害が発生したのち、最初に庁舎に到着した職員から順に、実施すべき対応手順を具体的に示したもので、平常時の職務分野や役職に関係なく、誰もが発災の初動対応ができることを主眼に開発した、カード型の災害対応初動マニュアルです。

今回作成したカードは、災害が勤務時間外に発生した場合に、発災1時間のうちに災害対策本部会議を開催することを最初の目標として、発災直後の初動・発災1時間後まで・3時間後までに益城町職員が優先してとるべき行動を具体的に示しています。また、勤務時間内に災害が発生した場合についても同様に作成しています。

【今回作成したアクションカードの種類】

- ・勤務時間外発災 初動活動総合版
- ・勤務時間内発災 発災(～1時間)対応カード
- ・勤務時間内発災 発災(1～3時間)対応カード

このカードを使用することで、どの職員が登庁しても取るべき行動が明確になり、指示系統の混乱を招くことなく、少人数でも迅速に災害対策本部を立ち上げることが可能となります。このように、発災時に重要と考えられる優先度の高い初動対応を確実に実行することで、行政機能の空白をできるだけ無くし、自治体の災害対応業務の早期実施につなげることが期待できます。

3. 各組織の概要

■ 益城町

熊本県益城町は、熊本県のほぼ中央部に位置し、町の北東部に阿蘇くまもと空港があり、西部には益城熊本空港インターチェンジを有し、田園と都市が調和する町として発展してきました。

平成28年熊本地震では、観測史上初となる震度7を2度経験した唯一の町です。熊本地震前は、熊本市のベッドタウン的要素から、人口も年々増加しておりましたが、地震後は、人口が約1,500人減少(住民基本台帳ベース)し、平成31年2月末現在で、人口32,920人となっています。しかしながら、徐々に復旧復興も進んでおり、今後は、少しずつ人口も回復することが見込まれております。

(Webサイト) <https://www.town.mashiki.lg.jp/index.html>

■ 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社(MURC)

MURC は、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(MUFG)のシンクタンク・コンサルティングファームです。東京・名古屋・大阪を拠点に、国や地方自治体の政策に関する調査研究・提言、民間企業向け各種コンサルティング、経営情報サービスの提供、企業人材の育成支援、マクロ経済に関する調査研究・提言など、幅広い事業を展開しています。

特に、防災・BCPの分野では、防災・減災、国土強靱化に係る「ひとづくり」・「まちづくり」・「仕組みづくり」に関する研究活動に取り組む「防災・リスクマネジメント研究室」を組成し、過去の大規模災害で得られた教訓を拠り所に、今後発生が想定される大規模災害に備え、実行性のある災害対応体制構築のために研究を重ねることで、現場の行動に繋げていくことを目指しています。

(Web サイト) <https://www.murc.jp/>

https://www.murc.jp/solution/public/dp_bcp/ (防災・リスクマネジメント分野)

【本件に関するお問い合わせ】

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

防災・リスクマネジメント研究室、研究開発第1部 [大阪] 平野誠也、秋元康男、宮川絵里香

〒530-8213 大阪市北区梅田 2-5-25 ハービス OSAKA

TEL:06-7637-1460

【報道機関からのお問い合わせ】

コーポレート・コミュニケーション室 TEL:06-7637-1430 梨子本(なしもと) E-mail:info@murc.jp

TEL:03-6733-1005 竹澤